



これからの図書館：社会の変容を見据えて

未来の図書館研究所(<http://www.miraitosyokan.jp>)

永田 治樹(nagata@miraitosyokan.jp)

1

もくじ

はじめに：ソーシャル・イノベーションの徳島県上勝町、
そして公共図書館

1. 図書館の現状と役割

図書館をめぐる近年の動向

図書館の役割の拡充

2. 図書館の未来を考える

図書館が関わる社会の変容

ARUPの未来の図書館のエコシステム

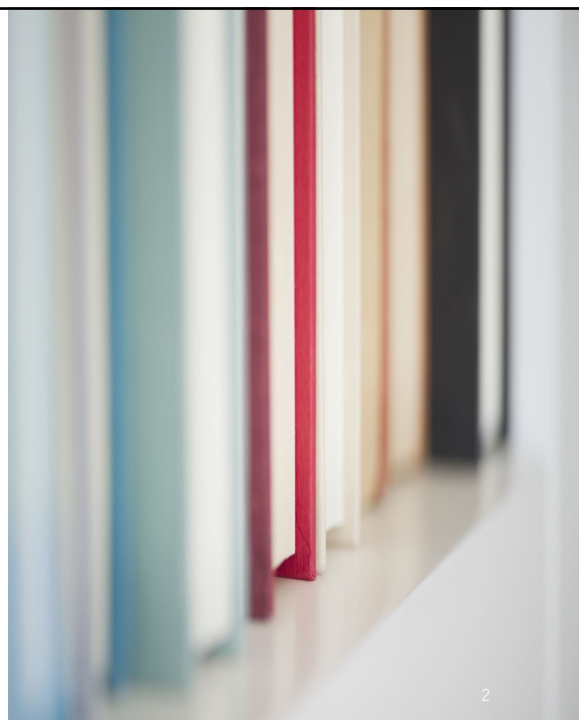
<幕あい>わが国の現状

3. これからの図書館

図書館はどのように進化するか

コミュニティ状況のケース

まとめ：社会起業的な膨らみを



2

2

徳島県上勝町

- 葉っぱビジネス (1986年)
- 上勝町ゼロ・ウェイストセンター (WHY) (2003年)
- 上勝百貨店が「図書館」開設 (2014年) 文学など100冊 無料で持ち帰りOK

ソーシャルイノベーション (社会的な革新)

社会的な課題に新たな方法で取り組み、それによって創出される価値を社会に行きわたらせる革新的な解決法。それを行う組織(人)を社会起業(家)という

<https://www.amazon.co.jp/そうだ、葉っぱを売ろう-過疎の町、どん底からの再生-横石-知二/>

<https://mag.tecture.jp/culture/20200615-7666/>

3

3

公共図書館も社会起業

古典的な社会起業

- F・ナイチンゲールの看護事業
- R・オーウェンの生協事業

などとともに入々のための図書館も、19世紀に設置された

そして、教育、健康、福祉に関する事業が**公共サービス**としてしだいに整備されてきた



cf. <https://librarycompany.org>



4

4

図書館めぐる近年の動向

公共図書館サービスの水準は20世紀末にその頂点を極め、それ以降各国とも下降

**経済成長の鈍化
新自由主義政策による相互扶助的
(社会的)な役割を果たしてきた部門予算の削減**

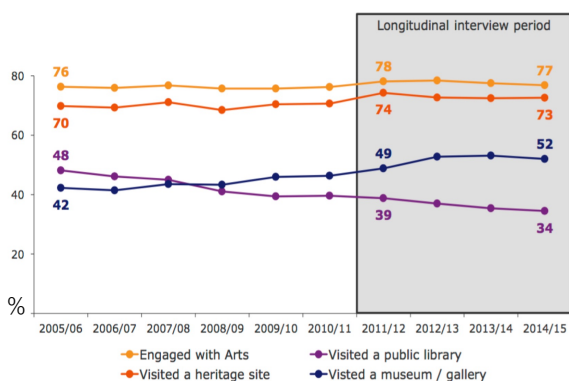
「予算や職員の削減により、図書館は体力を失いつつあり、新たなニーズへの対応が困難となってきている」（「これからの図書館の在り方 検討協力者会議」

(<https://www.mext.go.jp/a/menu/shougai/tosho/giron/05080301/001.htm>)

5

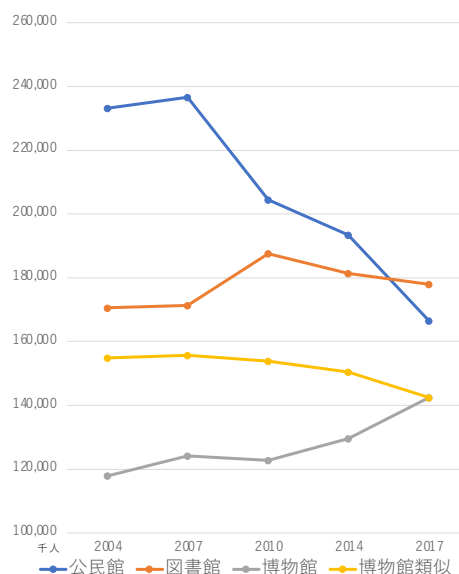
5

文化機関等の利用状況の推移： イングランドと日本



芸術イベント、文化遺産サイト、博物館・美術館、公共図書館
(上から順) 単位は人口百分率

Taking Part Statistical Release 2014/15 Quarter 4:
<https://www.gov.uk/government/statistics/taking-part-201415-quarter-4-statistical-release>



わが国の社会教育施設利用者数の推移

「社会教育調査平成30年度結果」

https://www.mext.go.jp/content/20200313-mxt_chousa01-100014642_3-3.pdf

6

図書館利用 の減退の理 由

その他の文化機関となりが
違うか

予算削減は同様だとするな
らば

経営の問題？

社会の変容にと
もなう状況の把
握？

イギリスでの議論

- ① 予算削減
- ② 近代化の失敗
- ③ 時間がない状況
- ④ デジタルシフトの遅れ
- ⑤ 利用の変化
- ⑥ マーケティングの失敗
- ⑦ 分権化による運営

<https://www.gov.uk/government/publications/analysing-data-cipta-statistics-and-the-future-of-englands-libraries/analysing-data-cipta-statistics-and-the-future-of-englands-libraries>

『公共図書館を育てる』 p.11-13

7

7

イギリスでの事態 「コミュニティ図書館」という代替

- 2008年以降英国の公共図書館が財源不足のため多くの図書館が急速に閉館に追い込まれた
- 地元の図書館をなんとか開けておくための「公共サービスの開放」として設置された「コミュニティ図書館」
- 2013年にはイングランドでは425館を数え、全図書館システム（単位）の三分の一にも及ぶ
- これらは図書館行政の埒外

[英国「コミュニティ図書館」](#)
(Primrose Hill Community Library)
<Google map

日米英の図書館数

	図書館システム数	図書館数	人口 (2019)	10万人当り図書館数
日本	1341	3296館	1億2707万人	2.59館
アメリカ合衆国	9057	1万6607館	3億2823万人	5.06館
イギリス	205	3667館	6665万人	5.50館

『公共図書館を育てる』 p. 61

8

8

イギリスの「コミュニティ図書館」

モデルの型	1. 独立型コミュニティ図書館 (公的部門の関与はない)		2. 連携型図書館 (公的部門やコミュニティと連携)		
	資産の所有	資産を非所有	2a コミュニティの管理	2b コミュニティを支援	2c コミュニティへの委託
	敷地を所有する独立したコミュニティ図書館。自治体から資産を移転したものもある	長期貸借権あるいは自由保有権のない独立していない図書館	コミュニティが主導し調達した図書館。まれに自治体支援による有給の職員が存在。公共図書館体系に属する	自治体为主导し経費を賄う図書館。通常有給職員だが、ボランティアの有効な支援がある	自治体から経費が出て、非営利のコミュニティ、社会企業、組合などに委託された図書館
自治体の職員や経費	なし	なし	資料費、自動貸出機、専門的なアドバイスなどに限った支援	あり、自治体は基本的な経費や職員を支援し続ける	あり、自治体は設置者であり続ける
自治体図書館の管理系統	なし	なし	通常はあり、しかし限定的	あり	あり
自治体からの資産の移転	あり	なし	時々	ありえない	ありえない
条例による規定	なし	なし	多くはあり	あり	あり
図書館運営へのコミュニティの関与	高い	高い	低	中	中
公的資金の程度	なし	なし	低	中	高
事例	Grappenhall Warrington Library,	Primrose Hill Library, Camden	Buckinghamshire Bradford North Yorkshire	Lincolnshire Telford and Wrekin Northamptonshire	Croxteth Library Liverpool Suffolk

『公共図書館を育てる』p. 92-93

9

9

公共図書館の二つの役割

1. 市民性 (citizenship) を培う役割

リテラシーの習得や、社会参加のための不可欠な知識・情報の提供

2. 地域を支える役割

コミュニティの場として、人々の社会的結束を育み、またさまざまな立場の人々を社会に包摂する (英国文化・メディア・スポーツ省『将来に向けての基本的考え方：今後10年の図書館・学習・情報』2003)

10

10

図書館に関わる社会の変容

公共財源のひっ迫

図書館の継続的
な財源のひっ迫

急速なデジタル
情報の増大

受けとめられないほどの情報過多
情報遮断やデータ崩壊の出現

知識経済の深化
雇用や学習への影響
コミュニティの変質
(都市化と孤立化)

知識社会における生活様式・コミュニティ状況

システム機能の
スマート化

インターネットと移动通信システム、モバイル機器
AIの進展
アルゴリズムによる情報操作

11

11

図書館の対応

資源（財源，情報資源）の確保（赤）

- 1. 図書館の位置づけの更新：アドボカシー（政策提言）の必要性
- 2. 新たな協働の確保（各種の連携，社会からの資源調達，あるいは自主財源の確保）

新たな状態への対応（緑）

- 図書館の基本的役割を確認し，
- 知識社会がもたらす新たな展開に対応する
- 図書館は，「知的協働を可能にする資源と場」「コミュニティを維持・発展させる拠点」，そして新事態に対応するさまざまな支援を実現する機能

12

12

ARUPの『未来の図書館』の分析と観点

- 専門家によるワークショップ（4ヶ所）
- ケーススタディ（S.ニアルコス財団未来図書館プロジェクトなど
<https://www.youtube.com/watch?v=tjk4nb-FmWY>）
- 人々の逸話

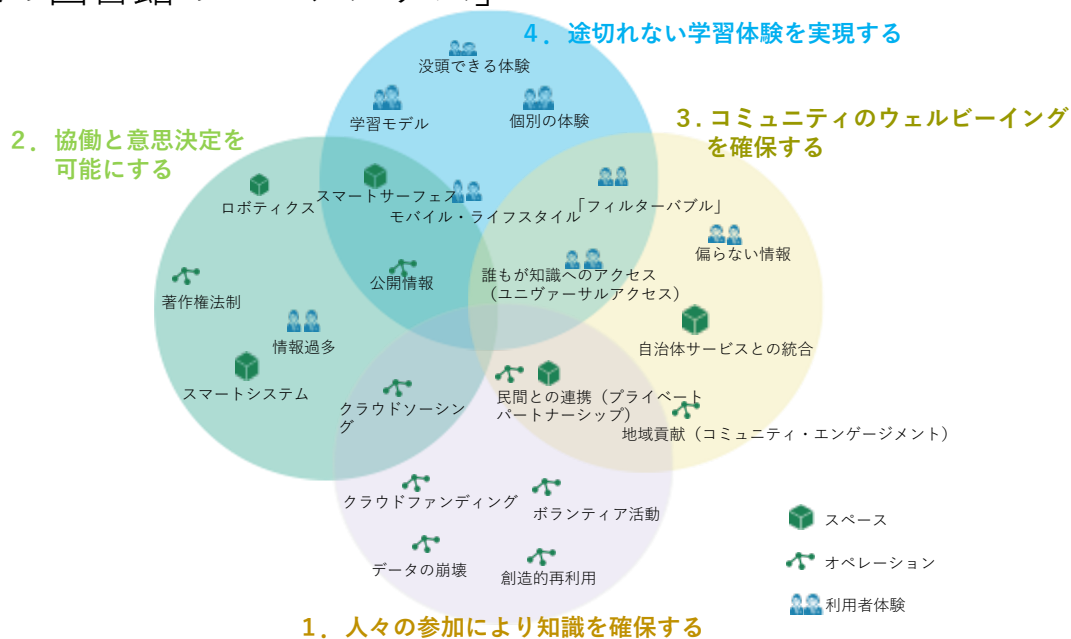
によって今なにが起きているかを把握し、そこから、望ましい未来を定義し、施策を描くエコシステム（さまざまな機能が共存共栄していく仕組み）

<https://foresight.arup.com/publications/future-libraries/>

13

13

「未来の図書館のエコシステム」

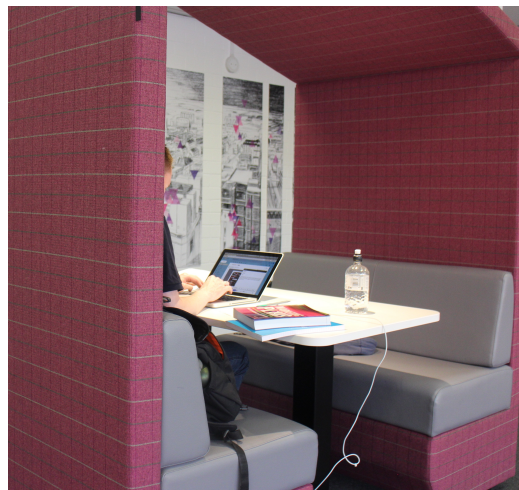


14

新たな状態への対応（緑）事例

知識経済の社会では、新たな価値は、これまでの知識・情報に立脚してほかの人々との**協働の環境**でつくられる

- 図書館は必要な知識・情報が備えられ、それらは簡便に使えるよう自動化される
- それとともに、協働するためのおしゃれで居心地のよいスペースが整備される
- このスペースを用意するとともに、利用を促進するように必要な講習会・イベントなどを展開する



(Sutton Central Library, UK)

15

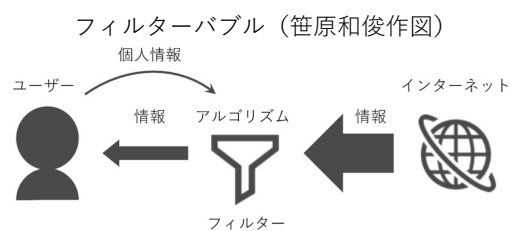
15

新たな状態への対応（緑）事例

知識は富をなす源泉であり、コミュニティの繁栄の道をひらくものである。そのためには誰もが知識へのアクセスができなくてはならない

- ✓デジタル情報により利便性は高まったが、他方アクセス制限も容易に設定可能
- ✓情報入手を歪める検索システム

インフォメーション・リテラシーが不可欠



https://www.soumu.go.jp/main_content/000630427.pdf

16

16

わが国の現状（幕あい）

- 図書館は国民が情報を受け取る機会を保障するため極めて重要な役割を担っている！
- 「市町村立図書館は、前項の方針を踏まえ、充実した図書館サービスを実施する上で必要となる十分な量の図書館資料を計画的に整備するよう努めるものとする。その際、郷土資料及び地方行政資料、新聞の全国紙及び主要な地方紙並びに視聴覚資料等多様な資料の整備にも努めるものとする。また、郷土資料及び地方行政資料の電子化に努めるものとする」（望ましい基準）

二つの重大な不足

1. モノ中心で、デジタル情報への対応ができていない（なお、蔵書中心主義の強い名残りも）
2. 利用者支援サービスが薄い（インフォメーションリテラシーを含む図書館のプログラムが極めて少ない）

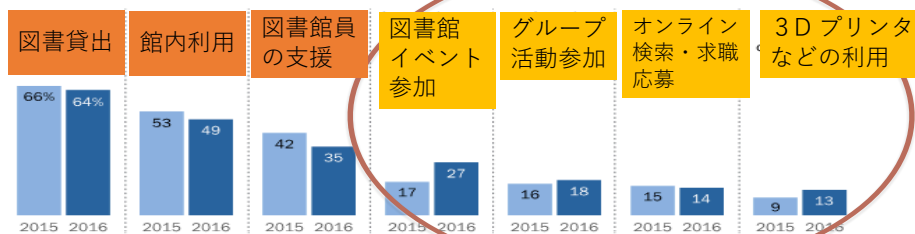
17

17

伝統的な使い方からの乖離、そして新たな動きに注目
さらに日本との違いなど

Traditional activities – borrowing books or reading – dominate library use, but people are also attending classes or other programs

% of U.S. library users ages 16 and older who say they did the following at libraries in the past 12 months



Note: 48% of those ages 16 and older used libraries or bookmobiles in the past 12 months.
Source: Survey conducted March 7-April 4, 2016.
"Libraries 2016"

<https://www.pewresearch.org/internet/2016/09/09/library-usage-and-engagement/> 18

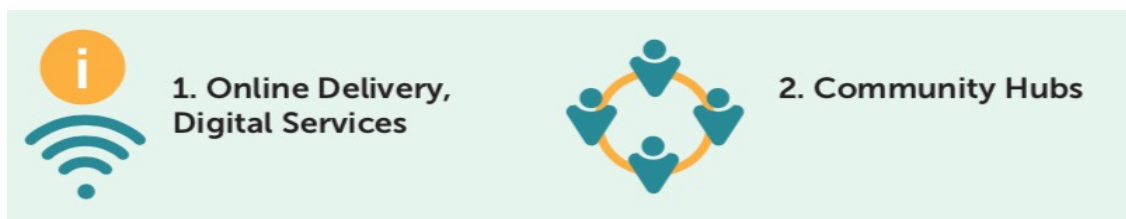
18

図書館はどのように進化するか

進化の二つのエリア

① オンラインでのサービスの増大
物理的な資源への依存度の低下

② 「コミュニティ・ハブ」としての図書館
図書館はコミュニティの中心的な場を占めている（情報・学習
機会、公共サービスの提供、文化活動など）



- コミュニティ・ハブにおいては図書館員は、さまざまなサービスやプログラムを運営者そして調整者となる
- 進化する図書館の枠組みは、より小さな分館であっても、もっと増強された機能を持つ

The Intrinsic value of libraries as public space.

<https://www.uts.edu.au/sites/default/files/Civica+Intrinsic+value+of+libraries+report.pdf>

19

19



① 増大するオンライン・ソース：コンソーシアムとクラウドソーシング

図書館は、もっと協働しなければ生き残れない

A: 図書館サービスシステムと電子書籍などのコンソーシアム展開など（交渉力と自前のスキルの向上）

B: 図書館が住民と協働する：デジタル・アーカイブなど

そして、クラウドソーシング（不特定多数の人々に作業や、お金の拠出を依頼するなど、なんらかの貢献を委託すること）の活用

Cf. 森嶋厚行『クラウドソーシングが不可能を可能にする』2020

⇒ オープンレクチャのお知らせ

20

20

②コミュニティ・ハブ： 人口集中など 都市化と周辺 地の孤立化と いう状況

21

図書館は、いずれのコミュニティにおいても、それぞれの地域のウェルビーイング（繁栄）を確保する必要がある

A: 都市化した地域：伝統的な図書館スペースと新技術の導入やビジネス育成などの創造的な活動スペースとを持つナレッジセンター図書館

B: 人口が減少した孤立地域：訪問者数と資金を安定させるために、図書館スペースでの文化的および社会的サービスの統合

21

②Bのシナリオ

22

- 図書館は、自治体の顔であり、さまざまな公共サービスのための重要な施設となる（都市化した地域の図書館でも一部の住民サービスを担うこともある）
- コミュニティによっては、銀行や商店、郵便局などが閉鎖に追い込まれ、代替として図書館がそのための施設となる可能性もある（住民のライフライン的機能の消滅の可能性）
- 新しい領域のサービスに対応できる図書館スタッフが必要となる。コミュニティの人々の相談役としての役割なども要求されたりする例も（幅広い、多様なスキルの職場）cf. The association for Rural & Small Libraries.
(<https://www.arsl.org/newsroom>)

22

まとめ：
これからの
図書館

公立図書館制度は、われわれにとって不可欠なもの。しかし、二つの点で行き詰まりをみせている

- ①公共財源のひっ迫
- ②弾力的運営の欠如

現代の「社会起業」は、公共機関がすべての社会課題に対応できなくなってきており、今世紀のはじめころから、それに代わるものとして、公共性でもなく、利潤追求でもない新しい行動原理のもと事業を展開している

23

23

「書とともに、町に出よう！」

現場では、「幕あい」で述べた実状との差異を意識しながら、それぞれのコミュニティ要求に応じた対応を

肝心な点は、人々の満足、そしてコミュニティのウェルビーイングが確保されることであり、「図書館が」ではない

そのためには、他の機関や市民との連携が必要であり、多くの弾力的な工夫が求められる
寺山修司の『書を捨てよ、町に出よう』という評論に見立てていけば、われわれの場合は「書とともに、町に出よう」といったところ

24

24